

ドクター メモ

50歳以上の男性が対象

あなたも前立腺がん検診を
受けてみませんか

ことし4月1日から、50歳以上の男性を対象にした吹田市の前立腺がん検診が始まりました。

前立腺は精液のもっとも大切な成分を作っている臓器で、膀胱から尿道の出口の部分にあります。そこに発生したものが前立腺がんです。戦後の飽食の時代とともに増加し始め、平成17年の厚生労働省の統計で、男性に発生するがんで1位、死亡率で4位になっています。主に50歳以上に発生し、肺がんや胃がんなどとは違って進行は緩やかで、比較的穏やかながんと言われています。しかし、10年後には男性がんの死亡率で1位になると予想され、対策が検討されてきました。

そこで注目されたのが前立腺がんの腫瘍マーカー、PSA(前立腺特異抗原)です。PSAは全がんの腫瘍マーカーの中でもっとも信頼性のある

指標の一つとして、学会から高い評価を受けています。昨年発表されたヨーロッパの研究で、PSAを測定することで死亡率が20%以上減少したとされ、日本やアメリカでも同様の成績が報告されてきました。PSAは通常の採血検査で測定します。1ml中4ng以上でグレーゾーンとされ、グレーゾーンの25%以上はがんの可能性があるとされています。最終的な診断は針生検検査を行って確定します。

吹田市の検診は、診療所や病院などの協力医療機関で受診することができますので、年に1回は検査することをお勧めします。ただし、前立腺肥大症や前立腺炎など、前立腺の病気で現在治療・投薬を受けている人は、検診の対象外となりますので注意してください。

吹田市医師会 大山 武司